

キャラクター名

プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	1
サポートクラス	モンク	Lv.1:	モンク	性別	女
称号クラス				年齢	16
種族	ヒューリン (ハーフフィル)			境遇	渡来
出自 (効果)	英雄			目標	好奇心

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	10	9	8	8	12	8	6
ボーナス	3	3	2	2	4	2	2
クラス修正	2	1	2	0	0	1	0
他修正							
能力値	5	4	4	2	4	3	2

HP	35
MP	29
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ツバイハンダー	至近	-1	10	0	0	0	-2	0
左手									
頭部	ハット					1			
胸部	クロスアーマー					3			
補助									
装身具									
能力値			4	0	4	0	3	8	10
スキル	行動値[ニンブル3、天空神2]							5	
その他	命中[マスター1d]		1D						
総計(右)			3	10					
総計(左)					4	4	3	11	10
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
毒消し	
MPポーション	

現在重量: 7

最大重量: 10

所持金: 0

預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーフブラッド	★	-	パッシヴ	-	-	-	-	
効果:	タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3							
バッシュ	2	4	メジャー	武器	単体	命中	-	
効果:	与ダメ+[SLd]の武器攻撃を行う。CT時ダイス増							
アームズマスタリー:両手剣	1	-	パッシブ	-	自身	-	選択武器使用	
効果:	選択武器使用命中+1D							
マインドクラッシュ	2	6	マイナー	-	自身	自動成功	-	
効果:	武器攻撃与ダメ+[SL×3]。その攻撃でHP与ダメ時に[ノックバック(1)]を与える。メインプロセス持続							
ニンブル	1	-	パッシブ/メイキング	-	自身	-	-	
効果:	行動値+3							
オピニオン	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果:	交渉や説得関連の精神判定+1D							
フェイス:ダグデモア	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果:	行動値+2							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「僕たちにかかれればその程度、大丈夫さ！」
「上手くいかないんだったら、上手くいくまでもっともっともーっと頑張ればいいんだよ！」

ヒューリンの母とフィルボルの父の間に生まれた、ハーフフィルボルの少女。口癖は「大丈夫」。耳は控えめに尖っており体型は小柄、性格は天真爛漫で楽観的、幸運に恵まれてきたなどのフィルボルらしい性質を持つ。体に似合わぬ大きめの両手剣を振り回しながら斬り込むスタイルを好む。三人の兄がいる末っ子であり、兄たちに囲まれて育った影響か、少年のような言葉遣いをする。両親とも兄たちとも、とっっても仲良し。

トワド内海と鯨の海に挟まれた小さな島の片田舎出身。かつてレットの父は村を危機に陥らせた海の魔獣の討伐に成功し、以来、村の英雄のような扱いを受けるようになった。彼の子たちもまた英雄の子として村人たちから期待を寄せられ、好意と厚意を受けながら育ってきた。恵まれた環境に囲まれ、レットは不幸も苦勞も知らぬまま、「誰でも頑張ればいずれ上手くいく」という真っ直ぐすぎる、ともすれば世間知らずとも言える価値観を持つようになった。そして、16歳となったレットは外の世界と冒険というものに憧れを抱き、村を出て冒険者となることを決意する。世界の残酷さなど露も知らない瞳を、無邪気な好奇心で輝かせながら。

名前の由来は伊語retta。英語でいうstraight (ストレート。直線) のこと。

PLから:
自分が幸福な片田舎環境で育ってきたせいで不幸な他者の不幸を理解できず無邪気に残酷に「もっと頑張れば大丈夫さ」などとほざき、のちに自分がどんなに頑張ろうとも大丈夫になどならない結果に見舞われて現実の残酷さや自分がずっと信じてきていた価値観の非現実さを知って絶望しながら涙流して欲しい。